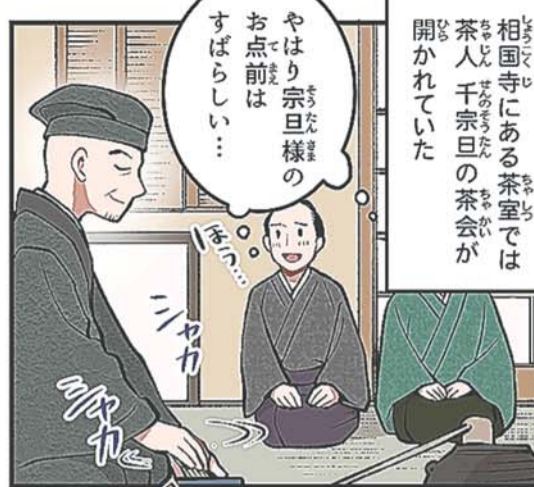


宗旦狐

相国寺にある茶室では
茶人千宗旦の茶会が
開かれていた

やはり宗旦様の
お点前は
すばらしい！



宗旦様
さきほどは
ありがとうございました



おかしいですね
茶会は今からの
はず…



宗旦様が
二人!?



わあああ
ごめん
なさい！



待て！
おまえ
宗旦様に化けて
イタズラを
したのか！



私はこの寺の
境内に住む
狐です

宗旦様のお点前を
よく見ておりました



宗旦様に
化けて
つい…



許して
おあげなさい！

えっ！

私に化けても
バレないほど
茶道の腕を磨かれた
のでしょうか

今度は
ぜひ私にも
茶をふるまって
ください



宗旦様…！

ありがとう
ございます…！



宗旦に化けた狐はその後
僧に化け、座禅や托鉢などの
修行を続けました

ときには
門前の家で
碁を打つことも
ありました

碁に熱中していると
しつぽが出てしまう
こともありました

ちよいと
しつぽが…

と相手が言う
しつぽを
引っ込めたと
いいです



人々に愛されたこの狐は
のちに「宗旦稲荷」として
相国寺境内に
祀られました

時代
江戸時代

エピソード

茶室「願神室」の窓は、正体を
みやぶられた宗旦狐が突き
破って逃げたのを修理したため
普通より大きくなったそうです。
また、宗旦狐には神通力があり
その力で人々を救ったりして
慕われました。宗旦狐は好物
であった油揚げを食べた時
思わずもとの姿に戻ってしまい
犬に吠えられ、井戸に落ちて
死んでしまいました。供養の
ために相国寺内に宗旦稲荷が
建てられました。

出没場所

京都・相国寺



マンガ：濱田映乃
監修：應矢泰紀
制作：京都精華大学
（京都国際マンガミュージアム研究員）
（京都国際マンガミュージアム）
事業推進室

※このマンガは妖怪の伝承をもとにアレンジしています。